



2022年3月期 決算説明会

2022年5月13日
パーソルホールディングス

1 2022年3月期 決算概要

- 全SBUで前期比増収増益（または赤字幅の縮小）
- 売上高、営業利益および純利益のすべてで、2021年11月発表の通期業績予想を上回り、過去最高を更新

2 2023年3月期 業績予想

- 通期業績予想は売上高1.1兆円、営業利益520億円と増収増益を見込む
- Career SBUを中心とした堅調な成長を継続し、営業利益は過去最高益を更新予定

3 中期経営計画2023の進捗

- 2022年3月期はCOVID-19の影響から力強く回復し、数値目標は1年前倒しで達成

2022年3月期 決算概要

2022年3月期 決算概要 (連結)

- 前期比増収増益となり、2021年11月発表の通期業績予想に対しても上回り、過去最高の売上高、営業利益及び純利益で着地

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 実績	前期比	22/3期 通期業績予想 (2021年11月発表)
売上高	950,722	1,060,893	+11.6%	1,060,000
営業利益	25,724	48,143	+87.2%	48,000
営業利益率	2.7%	4.5%	+1.8pt	4.5%
EBITDA	43,170	67,150	+55.5%	66,700
当期純利益*	15,341	31,523	+105.5%	27,700
調整後EPS (円)	100.98	169.93	+68.3%	155.68

* 親会社株主に帰属する当期純利益

(注) 22/3期第3四半期より、Asia Pacific SBUの豪州事業においてSaaS (ソフトウェア・アズ・ア・サービス) の会計処理を変更したことにより、21/3期実績および22/3期実績につきまして、当該影響を加味した数値としております (以下同じ)

2022年3月期 SBU別売上高

- 主力のStaffing SBUが堅調に推移するとともに、Asia Pacific SBUも伸長し、全てのSBUで21/3期を上回って着地

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 実績	前期比	22/3期 通期業績予想 (2021年11月発表)
連結	950,722	1,060,893	+11.6%	1,060,000
Staffing	530,240	575,743	+8.6%	576,700
Career	59,568	75,279	+26.4%	73,400
Professional Outsourcing	113,095	121,109	+7.1%	119,300
Solution	5,702	11,169	+95.9%	11,400
Asia Pacific	251,447	290,138	+15.4%	286,500
その他	11,464	13,755	+20.0%	14,200
調整	△20,795	△ 26,302	-	△21,500

2022年3月期 SBU別営業利益

- Staffing SBUでは収益性の高いBPO領域が伸長したほか、Asia Pacific SBUは黒字化を実現する等、全てのSBUで21/3期を上回って着地

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 実績	前期比	22/3期 通期業績予想 (2021年11月発表)
連結	25,724	48,143	+87.2%	48,000
Staffing	29,123	39,359	+35.1%	38,900
Career	331	7,264	+2088.9%	6,100
Professional Outsourcing	4,028	6,934	+72.1%	6,700
Solution	△4,809	△ 3,058	-	△3,100
Asia Pacific	△2,235	1,042	-	500
その他	△1,156	△ 801	-	△500
調整	442	△ 2,598	-	△600

2022年3月期 連結貸借対照表

➤ 強固な財務基盤を保ち、長期発行体格付 A (安定的) を維持

(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 実績	増減額
流動資産	236,943	286,897	+49,953
現金及び預金	83,161	107,545	+24,384
固定資産	144,235	134,880	△9,355
のれん	66,751	61,674	△5,077
資産合計	381,179	421,778	+40,598
流動負債	145,577	167,893	+22,315
固定負債	62,001	49,570	△12,430
純資産	173,600	204,313	+30,713
負債純資産合計	381,179	421,778	+40,598

2022年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

- 投資キャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入等により前期比で支出が減少
- フリーキャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローの増加により約436億円と前期比大幅増加

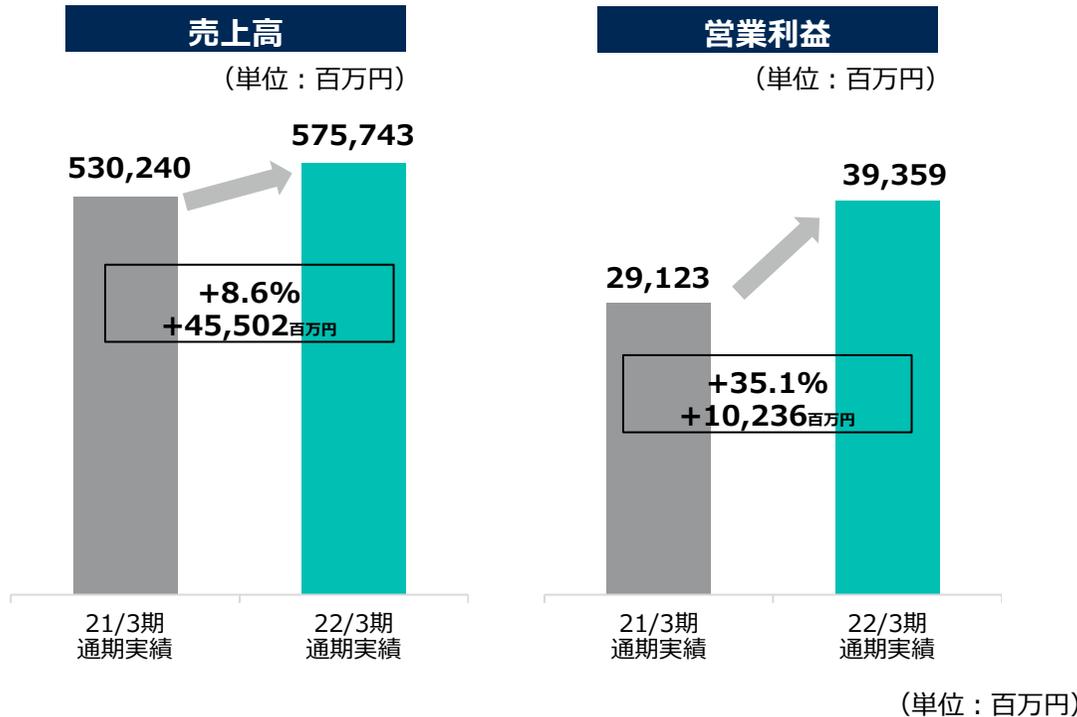
(単位：百万円)

	21/3期 実績	22/3期 実績	増減額
営業キャッシュ・フロー	36,805	50,692	+13,887
投資キャッシュ・フロー	△13,188	△7,057	+6,130
フリーキャッシュ・フロー	23,616	43,634	+20,017
財務キャッシュ・フロー	△17,973	△21,145	△3,172
現金及び現金同等物 の期末残高	82,991	106,558	+23,567

SBU別決算概要 –Staffing SBU–

■ 通期業績コメント

主力の派遣領域は派遣稼働者数が年間を通して増加し、堅調に推移するとともに、BPO領域では公共案件を中心とした受注が好調に推移し、増収増益



■ 四半期業績コメント

派遣

受注数・確定数ともに堅調に回復

- 受注数：前年同期比約25%増加
- 確定数：前年同期比約25%増加
- 終了数：前年同期比では増加も、依然としてCOVID-19前の水準を下回って推移

BPO

公共案件の好調な受注が寄与し、大きく増収増益

売上増減分析 (主な要因)

SBU全体では前年同期比10.1%の増収

① 派遣：7.2%の増収

- 稼働者数 +8.1%
- 単価 +0.7%
- 稼働時間等 +0.1%
- 稼働日 △1.7% (前年同期比△1日)

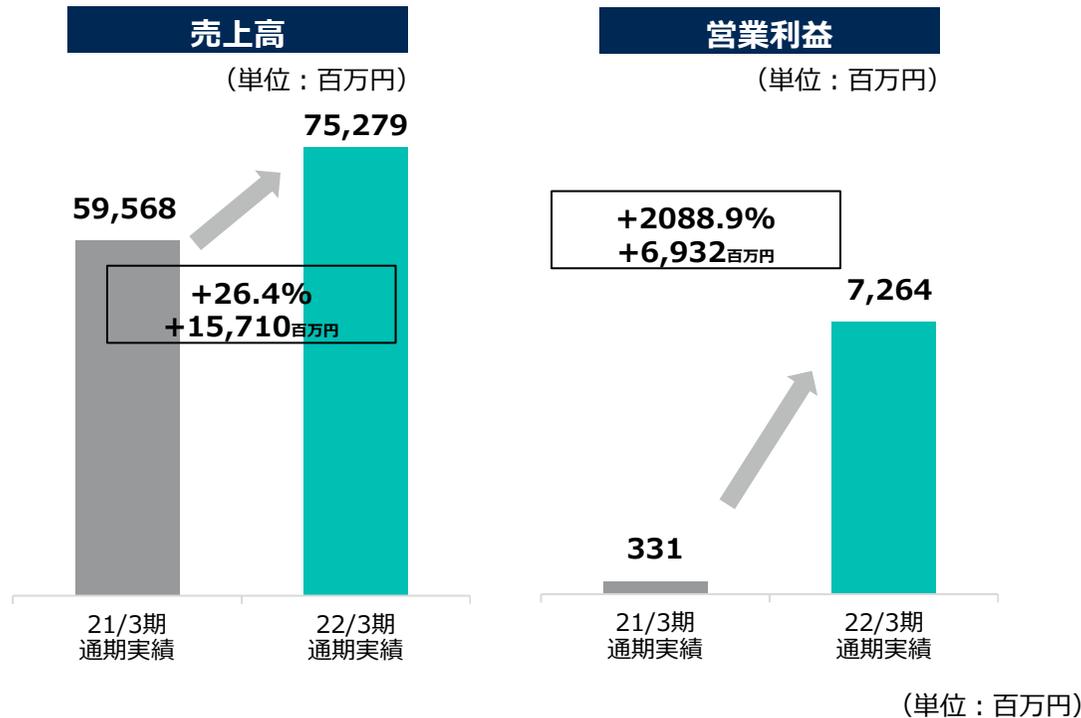
② BPO：46.9%の増収

	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高	135,870	149,660	+10.1%	530,240	575,743	+8.6%
営業利益	4,452	6,892	+54.8%	29,123	39,359	+35.1%
営業利益率	3.3%	4.6%	+1.3pt	5.5%	6.8%	+1.3pt
EBITDA	5,387	7,991	+48.3%	32,851	43,354	+32.0%

SBU別決算概要 –Career SBU–

■通期業績コメント

人材紹介事業、求人広告事業ともに力強い回復を実現し、増収増益



■四半期業績コメント

人材紹介事業における求職者の内定決定者数及び求人広告事業の受注が力強い回復を見せた結果、前年同期比増収増益

人材紹介

- 前年同期比約35%の増収
- 内定決定者は前年同期比約1.4倍と増加

求人広告

- 堅調な業績推移の結果、前年同期比30%近く増収

投資

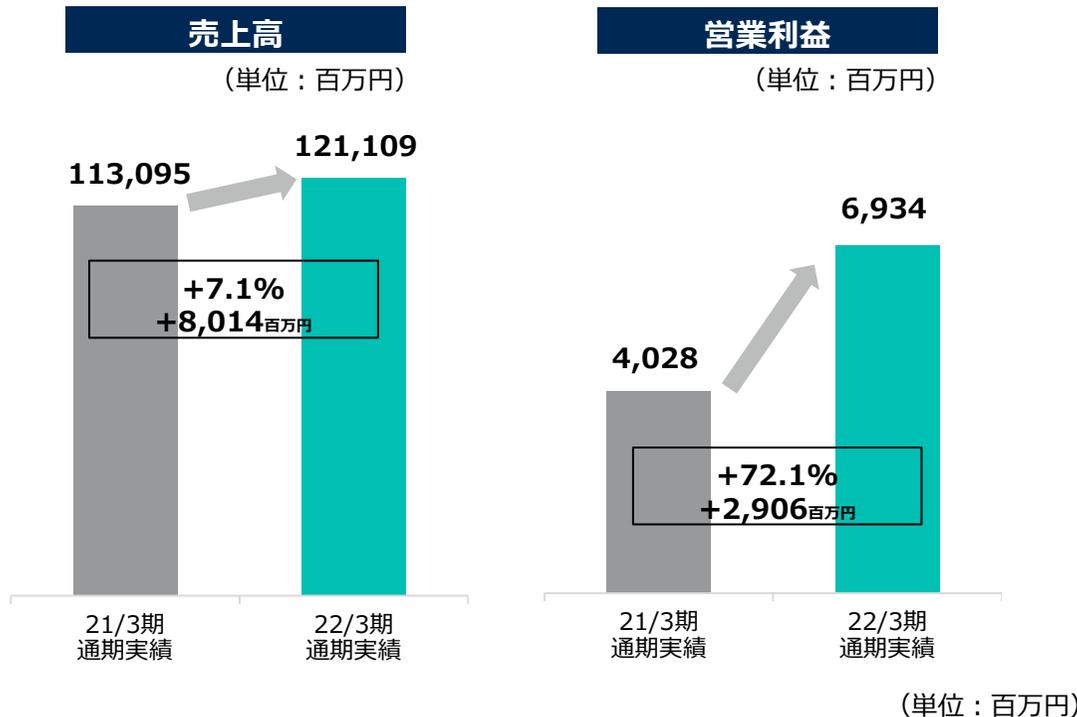
- 求職者登録に向けたマーケティング投資は継続

	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年 同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高	16,258	21,635	+33.1%	59,568	75,279	+26.4%
営業利益	660	2,110	+219.6%	331	7,264	+2088.9%
営業利益率	4.1%	9.8%	+5.7pt	0.6%	9.6%	+9.1pt
EBITDA	1,538	3,089	+100.8%	3,724	11,034	+196.3%

SBU別決算概要 – Professional Outsourcing SBU–

■ 通期業績コメント

エンジニアリング領域の売上伸長に加え、IT領域も堅調に成長を維持し、増収増益



	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高	30,718	32,530	+5.9%	113,095	121,109	+7.1%
営業利益	1,556	1,809	+16.2%	4,028	6,934	+72.1%
営業利益率	5.1%	5.6%	+0.5pt	3.6%	5.7%	+2.2pt
EBITDA	1,958	2,193	+12.0%	5,554	8,453	+52.2%

■ 四半期業績コメント

IT (売上構成比率 約40%)

- 引き続き、需要は堅調で9%増収
- 稼働率：約95%を維持
- エンジニア数：約4,700名（前年同期比+10.8%）

エンジニアリング (同 約25%)

- マーケットの戻りを受け11%増収
- 稼働率：約95%を維持
- エンジニア数：約3,200名（前年同期比+2.9%）

IT/エンジニアリング派遣 (同 約35%)

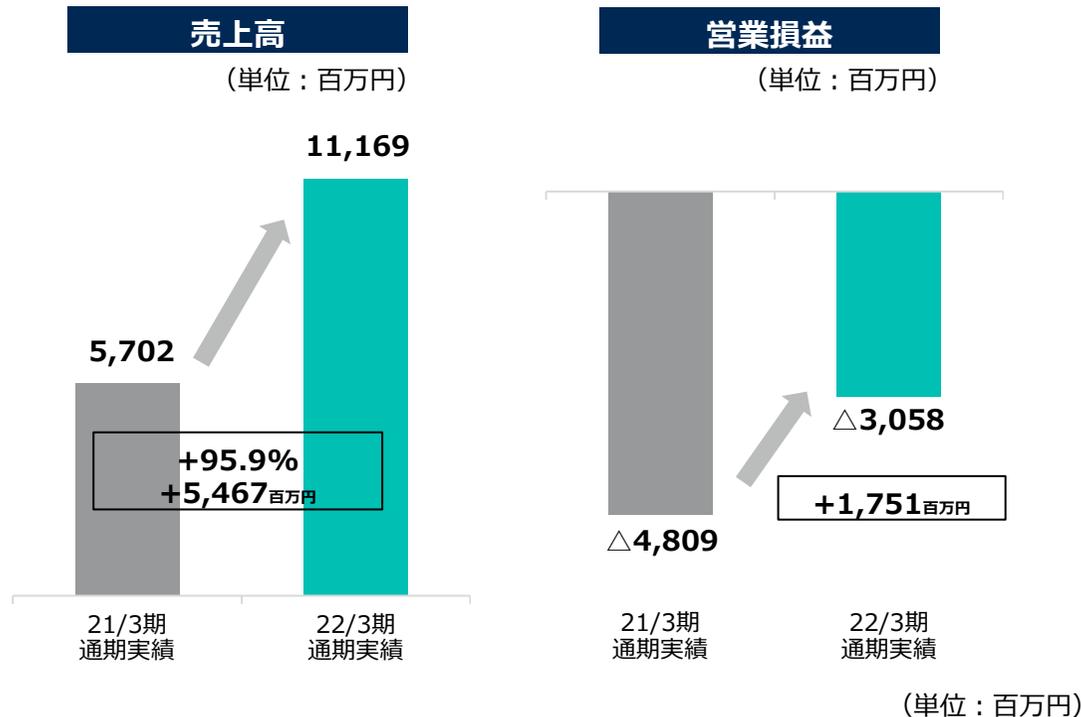
- 引き続き、IT領域は堅調、エンジニアリング領域も回復したことにより6%増収
- 稼働技術者数*：約6,000名（前年同期比+5.4%）

*稼働技術者数は登録型エンジニアを含む

SBU別決算概要 –Solution SBU–

■ 通期業績コメント

主力事業である転職アプリ事業「ミイダス」・クラウドPOS事業「POS+（ポスタス）」がともに増収し、SBUとしても大幅増収。積極投資を継続する一方、増収の寄与により赤字幅は縮小



■ 四半期業績コメント

ミイダス

- 引き続き好調に推移し、前年同期比大きく増収
- 累計アカウント企業数は中小企業を中心に伸長し、3月末時点で約36万社に（前年同月：約24万社）

POS+（ポスタス）

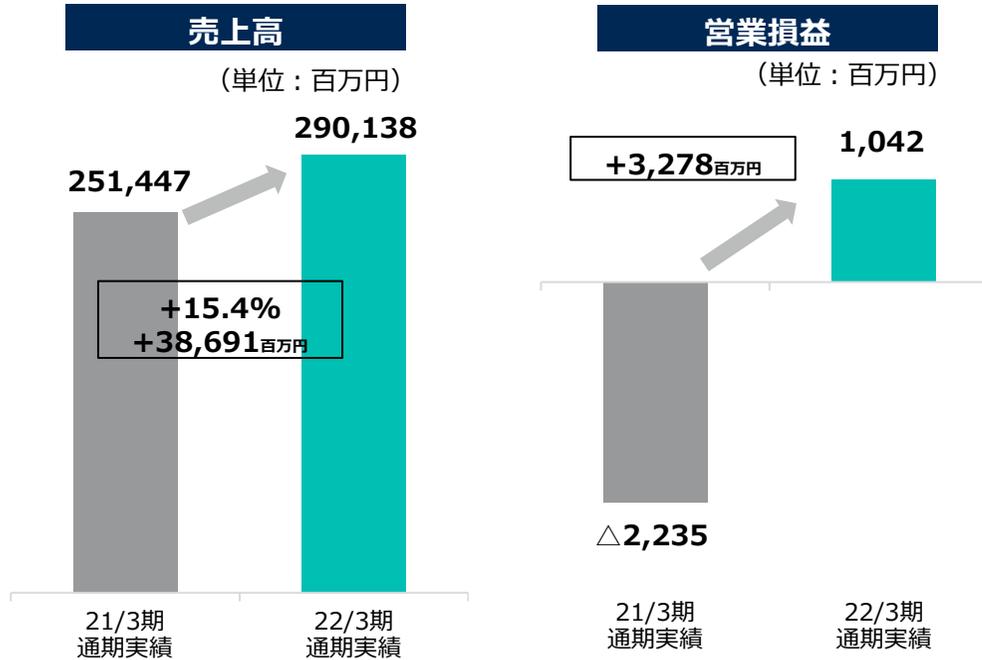
- 引き続き飲食の景況感の悪化を受けながらも、累計導入店舗数が前年同期比で約1.2倍と、順調に拡大
- 飲食や小売、理美容以外にも、官公庁や自治体のDXとして新たな市場セグメントを開拓し、新たな受注を獲得

	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高	1,918	3,248	+69.3%	5,702	11,169	+95.9%
営業損益	△1,016	△785	-	△4,809	△3,058	-
営業利益率	△53.0%	△24.2%	+28.8pt	△84.3%	△27.4%	+57.0pt
EBITDA	△663	△366	-	△3,668	△1,513	-

SBU別決算概要 –Asia Pacific SBU①–

■ 通期業績コメント

PERSOLKELLYの伸長とProgrammedのビジネス回復により増収。為替影響もプラスに寄与
利益面は、増収効果とProgrammedのコストコントロールが奏功し、黒字に転換



■ 四半期業績コメント (現地:2021年10月～12月)

PERSOLKELLY

人材派遣事業の堅調な推移と人材紹介事業の高い成長により、26.8%の増収、黒字転換

【現地通貨ベースでのコメント】

- 人材派遣事業は堅調に推移、人材紹介事業は高い成長を実現。なお、全ての地域で業績は順調に推移
- 今後の成長に向けた人員増加等の投資を行う一方、増収効果により黒字に転換

Programmed

豪州の景気回復に加え、豪ドル高もあり+17.4%の増収
増収効果とコストコントロールにより、黒字転換

【現地通貨ベースでのコメント】

- ロックダウンの解除を受け、新規受注が順調に推移した結果、Staffing事業・Maintenance事業ともに売上回復
- 売上の回復に加え、バックオフィス機能を中心としたコストコントロールに努めた結果、黒字に転換

PERSOLKELLY :

引き続き人員の増加等の投資により販管費が増加するが、人材派遣事業・人材紹介事業共に順調な推移。特に人材紹介の市場は各国活況

Programmed :

オミクロン株感染拡大の影響が一部みられたが、Staffing事業・Maintenance事業ともに概ね堅調な推移。利益面は、SaaSの会計処理変更の影響で販管費が増加。引き続き、人手不足に対処すべく供給力を確保するとともに、コストコントロールに取り組み、収益性改善を目指す

現地2022年1月～3月の状況

SBU別決算概要 –Asia Pacific SBU②–

Asia Pacific SBUにおける、PERSOLKELLYとProgrammedの内訳は下記のとおり

(単位：百万円)

	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高*	64,657	77,451	+19.8%	251,447	290,138	+15.4%
PERSOLKELLY	16,420	20,816	+26.8%	69,555	75,398	+8.4%
Programmed	48,236	56,634	+17.4%	181,891	214,739	+18.1%
営業損益*	△828	737	－%	△2,235	1,042	－%
(営業利益率)	(△1.3%)	(1.0%)	(+2.2pt)	(△0.9%)	(0.4%)	(+1.2pt)
PERSOLKELLY	△204	148	－%	△254	977	－%
Programmed	△435	851	－%	△1,626	667	－%
EBITDA*	832	2,340	+181.0%	3,943	7,691	+95.0%
PERSOLKELLY	4	317	+6886.1%	508	1,651	+224.7%
Programmed	1,016	2,281	+124.4%	3,790	6,633	+75.0%

* 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を管掌する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません

SBU別決算概要 –その他・調整–

その他（ホールディングス直轄会社）

■ 四半期業績コメント

- 売上高は、研修事業の回復に加え、特例子会社における障害者雇用事業のグループ内取引が増加した結果、前年同期比で増収
- 利益面は、研修事業の回復に伴い、赤字幅縮小

（単位：百万円）

	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年 同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高	3,015	3,431	+13.8%	11,464	13,755	+20.0%
営業損益	△558	△477	－%	△1,156	△801	－%
営業利益率	△18.5%	△13.9%	+4.6pt	△10.1%	△5.8%	+4.3pt
EBITDA	△462	△361	－%	△822	△344	－%

調整（コーポレート及び連結調整）

■ 四半期業績コメント

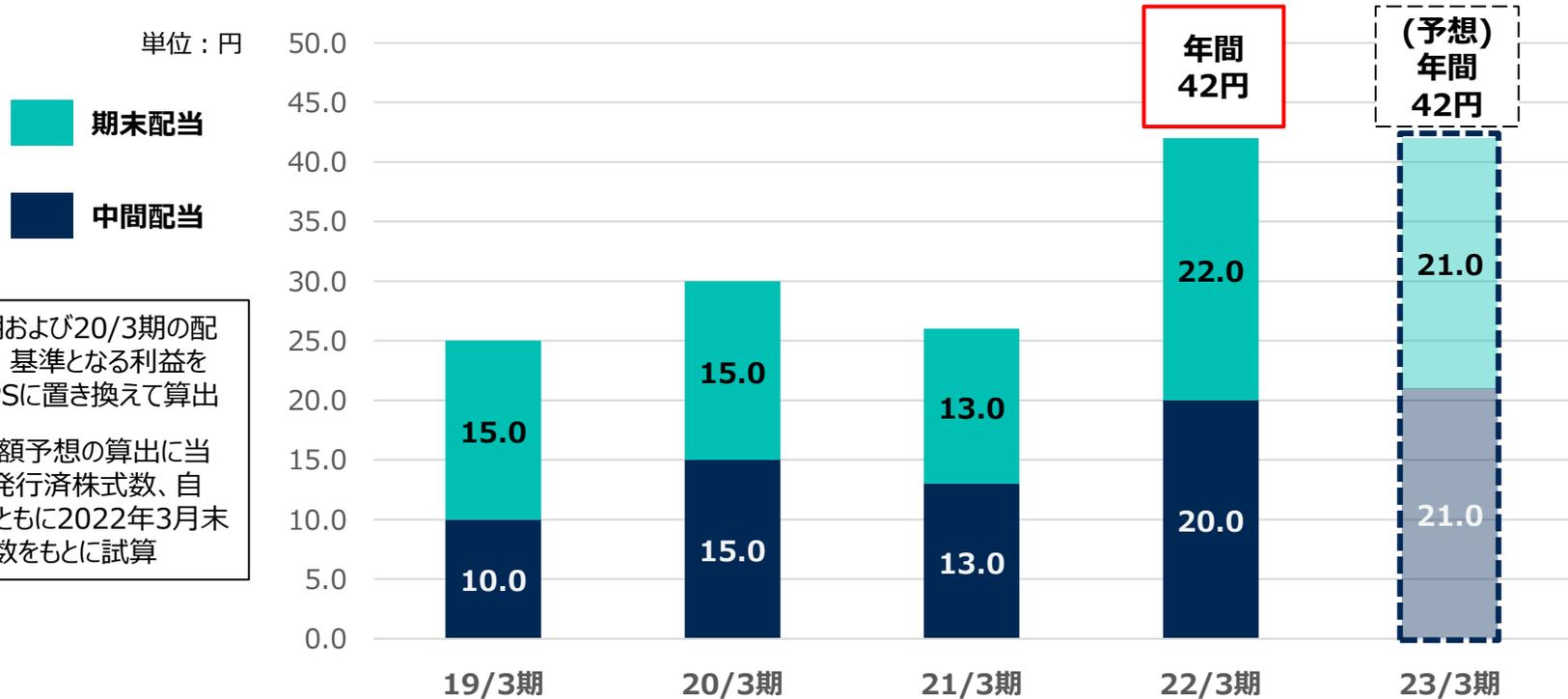
- TVコマーシャル等大型プロモーションやリモートワーク推進対応、ワクチン職域接種等コスト増により、赤字計上

（単位：百万円）

	21/3期 Q4	22/3期 Q4	前年 同期比	21/3期 通期	22/3期 通期	前期比
売上高	△5,555	△7,254	－%	△20,795	△26,302	－%
営業損益	△423	△2,955	－%	442	△2,598	－%
EBITDA	△96	△2,613	－%	1,587	△1,524	－%

1株あたり配当金推移・予想

- 22/3期の調整後EPSは169.93円となり、2020年11月に公表した配当方針（調整後EPSの25%配当を目途）に従い、年間配当金は配当予想よりも2円増額の**42円（過去最高）**とする
- 23/3期の年間配当予想は、22/3期同様、42円の見込み



*1 19/3期および20/3期の配当性向は、基準となる利益を調整後EPSに置き換えて算出

*2 配当総額予想の算出に当たっては、発行済株式数、自己株式数ともに2022年3月末時点の株数をもとに試算

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
調整後EPS(円)	150.26	148.44	100.98	169.93	161.46
調整後EPSによる配当性向(%)*1	16.6	20.2	25.7	24.7	26.0
配当総額(百万円)*2	5,849	6,967	6,022	9,745	9,745

2023年3月期 業績予想

2023年3月期 各SBUの見通し

Staffing	一時的な公共案件の需要減少を除き、派遣領域・BPO領域ともに堅調な成長を見込む
Career	COVID-19以前の利益水準に回復し、成長ドライバーとして、グループを牽引
Professional Outsourcing	エンジニア採用を強化し、M&Aも引き続き模索しながら成長を図る
Solution	引き続き、投資フェーズとして、売上拡大およびポジショニングの確立に注力
Asia Pacific	PERSOLKELLY社とProgrammed社のシナジーを発揮する一体的な経営で収益性改善を進める。本年8月にAsia Pacific SBUにおける中期経営計画を発表

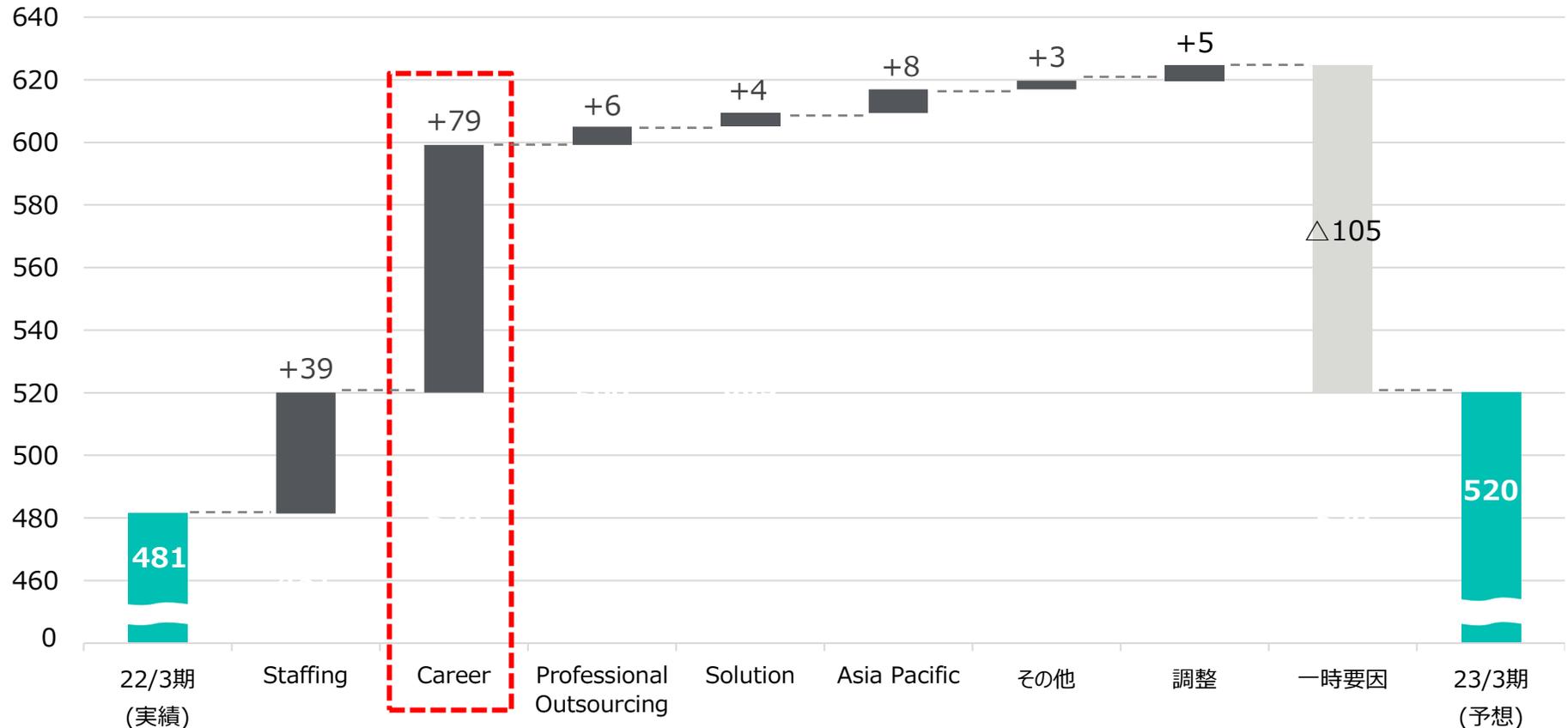
一時要因の影響を除く各SBUの営業損益増減

前提

- ✓ Staffing SBUにおける一時的な公共案件の受注は減少を見込む
- ✓ IFRS移行に向けての会計方針変更（以下、会計変更）に伴う一時的なコストが生じる
- ✓ ウクライナ情勢など地政学リスクは考慮せず

- Career SBUは、前期比**+79億円（+109%）**と、成長ドライバーとしてグループを牽引
- 一時要因（一時的な公共案件、会計変更）の影響額**105億円**を見込み、それを除く営業利益は前期比**+30%**

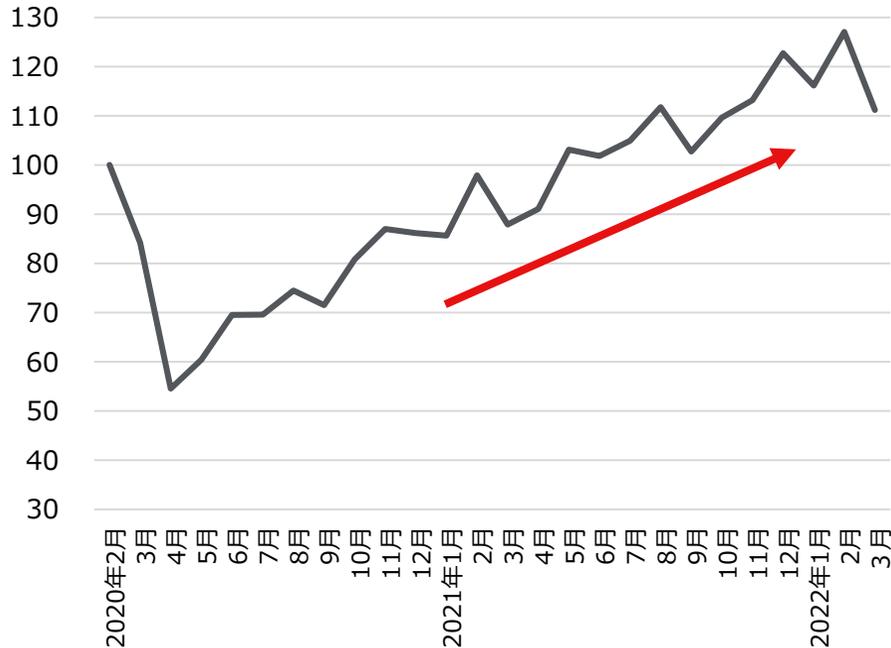
（単位：億円）



Career SBUの事業環境

■ 法人需要動向（案件増加数推移*）

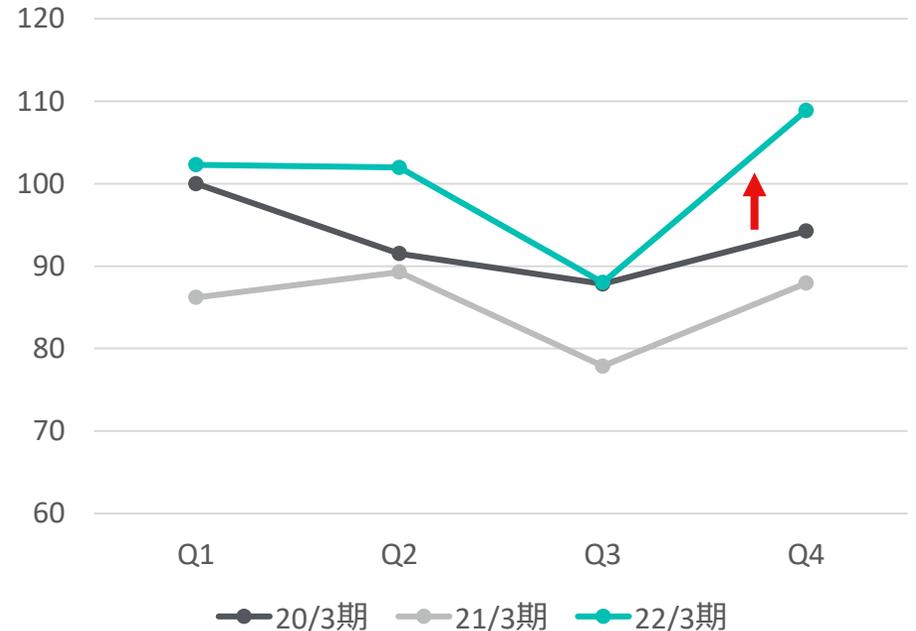
COVID-19感染拡大が始まった2020年4月に大きく落ち込むも、2021年5月にはCOVID-19前の水準まで回復し、その後も引き続き需要は旺盛



* 2020年2月時点をもとに指数化した推移

■ 求職者需要動向（dodaエージェント新規登録者数推移*）

COVID-19感染拡大の影響を大きく受けた21/3期に落ち込むも、22/3期は順調に回復しCOVID-19前の20/3期を超える水準で推移



* 20/3期Q1をもとに指数化した推移

2023年3月期 業績予想

2023年3月期の業績予想は、前期業績に大きく寄与した一時的な公共案件の減少があるものの、収益性の高い人材紹介事業を軸とするCareer SBUが成長を大きく牽引し、増収増益を見込む

(単位：百万円)

	22/3期 実績			23/3期 業績予想			前期比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	512,847	548,045	1,060,893	569,000	596,000	1,165,000	+10.9%	+8.8%	+9.8%
営業利益	26,735	21,407	48,143	26,400	25,600	52,000	△1.3%	+19.6%	+8.0%
営業利益率	5.2%	3.9%	4.5%	4.6%	4.3%	4.5%	△0.6pt	+0.4pt	-
EBITDA	36,085	31,065	67,150	37,200	37,000	74,200	+3.1%	+19.1%	+10.5%
当期純利益*	15,547	15,975	31,523	15,200	14,300	29,500	△2.2%	△10.5%	△6.4%
調整後 EPS(円)	85.95	83.99	169.93	82.99	78.46	161.46	△3.4%	△6.6%	△5.0%

*親会社株主に帰属する当期純利益

2023年3月期 業績予想 SBU別売上高



(単位：百万円)

	22/3期 実績			23/3期 業績予想			前期比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	512,847	548,045	1,060,893	569,000	596,000	1,165,000	+10.9%	+8.8%	+9.8%
Staffing	279,353	296,389	575,743	298,600	302,600	601,200	+6.9%	+2.1%	+4.4%
Career	34,942	40,337	75,279	47,500	50,900	98,400	+35.9%	+26.2%	+30.7%
Professional Outsourcing	57,748	63,360	121,109	64,200	69,300	133,500	+11.2%	+9.4%	+10.2%
Solution	4,955	6,214	11,169	7,100	9,300	16,400	+43.3%	+49.7%	+46.8%
Asia Pacific	141,504	148,634	290,138	157,400	170,800	328,200	+11.2%	+14.9%	+13.1%
その他	6,342	7,412	13,755	8,100	9,400	17,500	+27.7%	+26.8%	+27.2%
調整	△12,000	△14,302	△26,302	△ 13,900	△ 16,300	△ 30,200	-	-	-

2023年3月期 業績予想 SBU別営業利益



(単位：百万円)

	22/3期 実績			23/3期 業績予想			前期比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	26,735	21,407	48,143	26,400	25,600	52,000	△1.3%	+19.6%	+8.0%
Staffing	21,861	17,498	39,359	19,700	14,200	33,900	△9.9%	△18.8%	△13.9%
Career	3,193	4,071	7,264	7,200	7,600	14,800	+125.5%	+86.7%	+103.7%
Professional Outsourcing	2,804	4,130	6,934	2,200	4,800	7,000	△21.6%	+16.2%	+0.9%
Solution	△1,565	△1,493	△3,058	△ 1,300	△ 1,400	△ 2,700	-	-	-
Asia Pacific	582	459	1,042	300	1,500	1,800	△48.5%	+226.2%	+72.7%
その他	△553	△248	△801	△ 400	△ 300	△ 700	-	-	-
調整	412	△3,010	△2,598	△ 1,300	△ 800	△ 2,100	-	-	-

(注) 22/3期第3四半期より、Asia Pacific SBUの豪州事業においてSaaSの会計処理を変更したことにより、22/3期下期（遡及適用される上期分を含む）、23/3期上期および下期のそれぞれに当該影響を加味した数値としております。22/3期上期分の影響額は287百万円です。

2023年3月期 業績予想 SBU別EBITDA

(単位：百万円)

	22/3期 実績			23/3期 業績予想			前期比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
連結	36,085	31,065	67,150	37,200	37,000	74,200	+3.1%	+19.1%	+10.5%
Staffing	23,766	19,588	43,354	22,000	16,300	38,300	△7.4%	△16.8%	△11.7%
Career	5,049	5,984	11,034	9,100	9,900	19,000	+80.2%	+65.4%	+72.2%
Professional Outsourcing	3,557	4,895	8,453	3,200	5,700	8,900	△10.0%	+16.4%	+5.3%
Solution	△841	△671	△1,513	△500	△500	△1,000	-	-	-
Asia Pacific	3,956	3,734	7,691	3,600	5,100	8,700	△9.0%	+36.5%	+13.1%
その他	△326	△17	△344	△200	0	△200	-	-	-
調整	923	△2,448	△1,524	0	500	500	-	-	-

(注) 22/3期第3四半期より、Asia Pacific SBUの豪州事業においてSaaSの会計処理を変更したことにより、22/3期下期（遡及適用される上期分を含む）、23/3期上期および下期のそれぞれに当該影響を加味した数値としております。22/3期上期分の影響額は287百万円です。

中期経営計画2023の進捗

中期経営計画2023の数値目標

2022年3月期に中期経営計画最終年度となる2023年3月期の計画値を前倒しで達成したため、2023年3月期の数値目標は、当初計画よりも高い業績予想数値を設定

	2022年3月期 実績	2023年3月期 当初計画 (2020年8月発表)	2023年3月期 業績予想
売上高	10,608億円	10,000億円	11,650億円
営業利益 (営業利益率)	481億円 (4.5%)	450億円 (4.5%)	520億円 (4.5%)
EBITDA (EBITDAマージン)	671億円 (6.3%)	610億円 (6.1%)	742億円 (6.4%)
当期純利益*	315億円	268億円	295億円
調整後EPS	169.93円	147.76円	161.46円

*親会社株主に帰属する当期純利益

中期経営計画2023の進捗サマリー

中期経営計画2023の2年目となる2022年3月期の進捗は下記の通り

中期経営計画の進捗状況

社会的価値の向上

- 2021年9月に統合報告書2021を発刊し、ESG関連の開示を充実化
- 2021年9月にジェンダーダイバーシティ委員会、2022年3月にサステナビリティ委員会をそれぞれ新設

経済的価値の向上

- 取締役会などにおいて、ROICを踏まえた議論やモニタリングを継続実施
- 2022/3期のROICは14.2%と、最低水準として設定した10%を上回って着地

SBU体制への移行

- 2021年7月にコーポレートガバナンス委員会を新設し、ガバナンス機能を強化
- これにより迅速に意思決定できるSBU体制においても経営監督機能を確保

成長領域の特定

- Professional Outsourcing SBUにおいて、M&A投資を引き続き模索中

テクノロジーによる事業強化

- 2022年2月に「はたらく未来図構想*」の中核を担うキャリアマネジメントサービス「PERSOL MIRAIZ」のβ版を提供開始

*あらゆる個人が自分らしくはたらし、自らの未来を描くことをサポートする仕組み

社会的価値の向上 – 専門委員会の設置 –

■ ジェンダーダイバーシティ委員会

2021年9月にHMC（Headquarters Management Committee）の下部組織として新設。女性活躍をさらに推進し、グループ横断での人材育成や両立支援を加速させる

目的	女性管理職比率向上（2030年までに37%まで引き上げる）のための施策の検討と議論
審議対象	グループ横断の女性管理職比率向上戦略及び重要施策
メンバー	女性経営幹部を議長とし、議長が指名する各SBUの女性経営幹部・幹部候補、案件に応じて議長が指名する者で構成



ジェンダーダイバーシティ委員会

■ サステナビリティ委員会

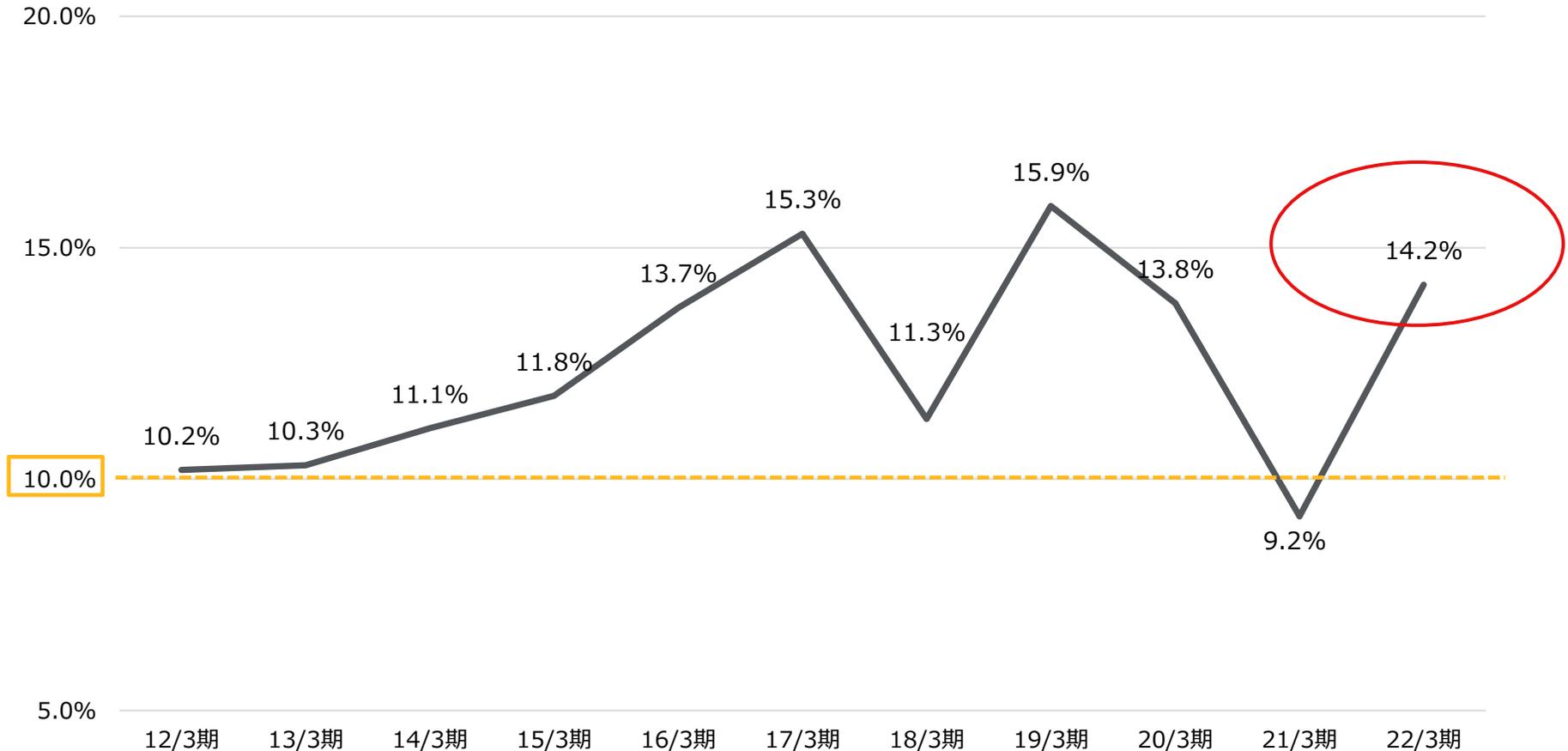
2022年3月にHMCの下部組織として新設。各事業・各機能の責任者である執行役員が参画することで、グループ一体となったサステナビリティ活動を推進する

目的	経営によるサステナビリティ推進のための深度ある議論の実施、審議・監督及びモニタリング
審議対象	サステナビリティに係る方針（マテリアリティ、環境・人権方針など）や戦略及び重要施策
メンバー	代表取締役社長 CEOを議長とし、ホールディングス執行役員・議長が指名するグループ社員、アドバイザーとして社外取締役・外部から招聘する有識者で構成

経済的価値の向上 – ROIC*の推移 –

COVID-19の影響を受けて、21/3期には一時的にROIC*は悪化したものの、22/3期には大きく回復し、23/3期も横ばいで推移する見込み

■ ROICの推移



* ROIC : のれん償却前税引後営業利益 ÷ 投下資本 (= 有利子負債 + 自己資本) で算出

次期中期経営計画の開示スケジュール

- **Asia Pacific SBU**の中期事業戦略及び数値目標：

2022年8月の23/ 3期Q1決算発表時に開示

- **グループ全体**の次期中期経営計画：

2023年5月の23/ 3期本決算発表時に開示

Appendix

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	238,222	227,533	238,083	246,883	250,432	262,415	267,342	280,703
YoY(%)	+1.3%	△6.6%	△1.7%	△1.0%	+5.1%	+15.3%	+12.3%	+13.7%
営業利益	9,115	4,760	8,005	3,842	13,137	13,597	14,075	7,332
OPM(%)	3.8%	2.1%	3.4%	1.6%	5.2%	5.2%	5.3%	2.6%
EBITDA	13,389	8,962	12,322	8,496	17,821	18,263	18,791	12,274
EBITDA Margin(%)	5.6%	3.9%	5.2%	3.4%	7.1%	7.0%	7.0%	4.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,670	2,974	4,880	2,816	8,487	7,060	8,384	7,591

Staffing SBU

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	130,678	129,605	134,086	135,870	137,846	141,507	146,728	149,960
YoY(%)	+6.9%	+2.8%	+2.4%	+3.8%	+5.5%	+9.2%	+9.4%	+10.1%
営業利益	8,921	7,387	8,361	4,452	10,428	11,433	10,606	6,892
OPM(%)	6.8%	5.7%	6.2%	3.3%	7.6%	8.1%	7.2%	4.6%
EBITDA	9,914	8,283	9,265	5,387	11,370	12,395	11,596	7,991
EBITDA Margin(%)	7.6%	6.4%	6.9%	4.0%	8.2%	8.8%	7.9%	5.3%
稼働日数 (日)	61	58	61	60	61	58	61	59

Career SBU

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	16,827	12,887	13,595	16,258	17,602	17,339	18,702	21,635
YoY(%)	△28.5%	△42.1%	△24.9%	△16.7%	+4.6%	+34.5%	+37.6%	+33.1%
営業損益	1,505	△1,367	△466	660	2,063	1,129	1,960	2,110
OPM(%)	8.9%	△10.6%	△3.4%	4.1%	11.7%	6.5%	10.5%	9.8%
EBITDA	2,316	△526	395	1,538	3,002	2,047	2,894	3,089
EBITDA Margin(%)	13.8%	△4.1%	2.9%	9.5%	17.1%	11.8%	15.5%	14.3%

Professional Outsourcing SBU

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	26,415	27,281	28,680	30,718	28,222	29,526	30,830	32,530
YoY(%)	+10.0%	+4.4%	+6.8%	+6.5%	+6.8%	+8.2%	+7.5%	+5.9%
営業利益	315	674	1,481	1,556	1,214	1,590	2,320	1,809
OPM(%)	1.2%	2.5%	5.2%	5.1%	4.3%	5.4%	7.5%	5.6%
EBITDA	683	1,049	1,861	1,958	1,589	1,968	2,701	2,193
EBITDA Margin(%)	2.6%	3.8%	6.5%	6.4%	5.6%	6.7%	8.8%	6.7%

Solution SBU

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	952	1,237	1,593	1,918	2,181	2,773	2,966	3,248
YoY(%)	△29.5%	△32.6%	△14.2%	△2.5%	+129.0%	+124.1%	+86.1%	+69.3%
営業損益	△1,437	△1,260	△1,095	△1,016	△883	△681	△708	△785
OPM(%)	△150.8%	△101.8%	△68.8%	△53.0%	△40.5%	△24.6%	△23.9%	△24.2%
EBITDA	△1,204	△1,018	△781	△663	△527	△314	△304	△366
EBITDA Margin(%)	△126.4%	△82.3%	△49.0%	△34.6%	△24.2%	△11.3%	△10.3%	△11.3%

Asia Pacific SBU

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	65,980	58,684	62,124	64,657	67,306	74,198	71,183	77,451
YoY(%)	△1.5%	△15.7%	△6.2%	△8.2%	+2.0%	+26.4%	+14.6%	+19.8%
営業損益	△116	△561	△729	△828	△0	582	△277	737
OPM(%)	△0.2%	△1.0%	△1.2%	△1.3%	△0.0%	0.8%	△0.4%	1.0%
EBITDA	1,390	947	772	832	1,675	2,281	1,394	2,340
EBITDA Margin(%)	2.1%	1.6%	1.2%	1.3%	2.5%	3.1%	2.0%	3.0%
豪GDP成長率* (%)	1.4%	△7.0%	△3.8%	△1.1%	1.1%	9.6%	3.9%	4.2%
為替 (USD/JPY)	108.9	108.2	107.5	106.8	106.1	107.8	108.6	109.9
為替 (AUD/JPY)	71.6	71.1	72.8	73.7	81.9	83.1	82.4	82.5

* 速報値を記載しています

その他

(単位：百万円)

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,364	2,656	3,428	3,015	3,314	3,028	3,980	3,431
YoY(%)	+36.5%	+2.7%	+14.7%	+7.5%	+40.2%	+14.0%	+16.1%	+13.8%
営業損益	△455	△405	263	△558	△55	△497	229	△477
OPM(%)	△19.3%	△15.3%	7.7%	△18.5%	△1.7%	△16.4%	5.8%	△13.9%
EBITDA	△380	△329	350	△462	54	△381	344	△361
EBITDA Margin(%)	△16.1%	△12.4%	10.2%	△15.3%	1.7%	△12.6%	8.7%	△10.5%

調整額（コーポレート及び連結調整）

（単位：百万円）

	21/3期				22/3期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	△4,995	△4,819	△5,425	△5,555	△6,041	△5,958	△7,047	△7,254
YoY(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
営業損益	382	292	191	△423	371	41	△55	△2,955
OPM(%)	-	-	-	-	-	-	-	-
EBITDA	669	556	457	△96	657	266	164	△2,613
EBITDA Margin(%)	-	-	-	-	-	-	-	-

のれん残高

(単位：百万円)

SBU	22/3期 期末時点残高
Staffing SBU	7,573
Career SBU	16,712
Professional Outsourcing SBU	7,407
Solution SBU	-
Asia Pacific SBU	28,282
PERSOLKELLY	1,666
Programmed Staffing	2,191
Programmed Maintenance	23,406
Programmed その他	1,017
その他	1,698
合計	61,674

調整後EPS

- 2021年3月期より、配当性向重視の配当方針へ転換。配当性向は、調整後EPSの25%を目途とする
- 調整後EPSは、主にのれんの償却額や特別損益等の影響を除外して算出

$$\text{調整後EPS} = \frac{\text{調整後当期純利益}}{\text{期中平均発行済株式数} - \text{期中平均自己株式数}}$$

$$\text{調整後当期純利益} = \text{親会社株主に帰属する当期純利益} \pm \text{調整項目(非支配株主帰属分を除く)} \pm \text{調整項目の一部にかかる税金相当額}$$

(単位：百万円)

	20/3期	21/3期	22/3期
親会社株主に帰属する当期純利益	7,612	15,341	31,523
調整項目	28,486	8,582	7,841
調整項目の一部にかかる税金相当額	△1,604	△627	△ 218
調整後当期純利益	34,494	23,296	39,146
株式数(株)*	232,381,682	230,706,879	230,361,358
調整後EPS(円)	148.44	100.98	169.93

調整項目の内容

- 企業結合により生じたのれん以外の無形固定資産の償却額
- のれんの償却額
- 特別損益

* 株式数 = 期中平均発行済株式数 - 期中平均自己株式数

各SBUのビジネス概要

Staffing SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材派遣（事務、研究、臨床開発、販売、軽作業） ■ アウトソーシング（事務、官公庁事業、コール・ヘルプデスク、CRO、製造） ■ 紹介予定派遣／人材紹介 	    
Career SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材紹介（中途採用、新卒採用） ■ 転職メディア、ダイレクトソーシング ■ 顧問、アドバイザー紹介 ■ 再就職支援 ■ キャリア研修 	    
Professional Outsourcing SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ アウトソーシング（IT・業務） ■ デジタルソリューション、システム開発 ■ IT・業務コンサルティング ■ エンジニアリング（設計・実験） ■ 人材派遣（IT・機電エンジニア） 	   
Solution SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルソリューション（人材採用、人材管理、教育） ■ インキュベーションプログラム 	    
Asia Pacific SBU	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材派遣 ■ 人材紹介 ■ 設備・施設メンテナンス ■ アウトソーシング ■ 人事・労務コンサルティング ■ 教育、研修 ■ 訪問介護 	 

当資料取り扱い上の注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2022年5月13日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

本資料に含まれる数値、指標は、当社グループの経営成績および財政状態に関して、適切な理解を促進する事を目的として開示しており、すべての数値、指標が監査法人による監査またはレビューの対象ではない点にご留意ください。